

AIのための堅牢な データ基盤の構築

評価チェックリストと導入ワーク シート

AIの導入は、企業の変革と同様のスピードで進んでいます。多くの企業がAIの導入を熱望していますが、堅牢なデータ基盤が整備されていないと、多くの場合その取り組みは価値を生み出せずに終わってしまいます。本チェックリストとワークシートは、自社の現在のデータ成熟度を評価し、AIに適応した組織になるための実行可能なロードマップ作成に役立ちます。



第1部：データ成熟度評価

データ品質と標準化

- データはシステム全体で標準化および正規化されています。
- データ収集におけるエラー率は低いです。
- 適切な同意管理プロセスを備えています。
- カスタマージャーニーにおけるデータギャップは最小限に抑えられています。
- 必要な時に、リアルタイムまたはほぼリアルタイムでデータを利用できます。

データのアクセス性と使いやすさ

- データはサイロ化されておらず部門間でアクセス可能です。
- ビジネス部門は広範な技術サポートなしにデータにアクセスできます。
- ビジネス用語に対応できる柔軟なスキーマを備えています。
- AIモデルの統合が容易なデータ構造になっています。
- データを迅速に実用的な洞察に変換できます。

組織の準備状況

- データイニシアチブをサポートする部門横断的なチームがあります。
- 経営陣はAIのためのデータ基盤の重要性を理解しています。
- データガバナンスのためのプロセスが確立されています。
- 自社のチームはデータ環境を管理するために必要なスキルを有しています。
- データおよびAI成熟度に関する明確なロードマップがあります。

第2部：AI導入ワークシート

現状分析

AI成熟度スペクトラムにおける自社組織の現在の状況を特定します。

- ハイハイ (Crawl)：最初のAIユースケースの運用開始に向けて取り組んでいます。
- 歩く (Walk)：複数のチャネルまたはユースケースでAIを導入済みです。
- 走る (Run)：AIが企業全体で統合的に運用されています。

AI成熟度スペクトラムにおける自社の現在の状況を書き出してください。

1. _____
2. _____
3. _____

データ基盤の計画

AIイニシアチブのために、接続する必要があるデータソースを特定してください。

データソース	既に接続済み？	リアルタイム？	データ品質の問題

実際に接続する必要があるものを特定してください。

- ウェブサイト
- POS
- モバイルアプリ
- 顧客サービス
- Eメール
- SNS

その他： _____

AI導入ロードマップ

短期AI目標（3～6ヶ月）：

1. _____
2. _____
3. _____

中期AI目標（6～12ヶ月）：

1. _____
2. _____
3. _____

長期AI目標（12ヶ月以上）：

1. _____
2. _____
3. _____

第3部：技術的検討チェックリスト

データの収集と統合

- SDK、ピクセル、またはAPIによるリアルタイムのデータ収集
- システム全体で標準化されたデータ形式と命名規則
- コンテキスト属性を含む統一された顧客プロフィール
- データ収集と統合された適切な同意管理の確立
- リアルタイムAIアプリケーションのためのストリーミングデータ機能の有効化

AIモデルの導入

- AIモデルの導入に最適な場所の決定（集中型 vs. エッジ）
- 顧客接点全体でAIのアウトプットをアクティベーションするプロセスの構築
- AI実装のパフォーマンス指標の確立
- AIモデルの継続的な改善のためのフィードバックループの開発
- 該当する場合、オンデバイスAI機能の計画

アクティベーションと測定

- AIのアウトプットを顧客体験チャンネルに展開する方法を定義
- AIの影響を測定するための基準を確立
- AIのパフォーマンスとビジネス成果を追跡するためのダッシュボードの作成
- AIの実装をテストし最適化するプロセスの開発
- AIモデルの管理と更新のためのガバナンスの確立

重要なポイント

- 01 **データ基盤の構築を第一に考える**：複雑なAIプロジェクトに着手する前に、堅牢なデータ基盤を構築することを優先しましょう。標準化され、アクセス可能なデータがなければ、AIモデルで価値のある成果を生み出すのは難しくなります。例えば、“電話”、“電話番号”、“携帯”のように、複数のシステムで一貫性のないラベル付けがされていると、AIはインサイトを生成するよりもデータの整合に多くの時間を費やすこととなります。
- 02 **完璧さよりも前進を**：AIの実装は一度に完璧に行うのではなく、段階的に改善するようにしましょう。あるタイプのAIモデルで成功しても、別のモデルでも成功するとは限りません。顧客離脱予測のような高価値のユースケースから始め、その実装から学びを得て、次のAIプロジェクトにその知識を活かすのが効果的です。
- 03 **組織の連携**：AIイニシアチブを支援するため、人材、プロセス、テクノロジーが適切に連携していることを確認しましょう。適切なトレーニングの実施やワークフローの最適化がなければ、最高のAI技術でも使われなまま終わってしまいます。技術担当者とビジネス担当者の双方を含む部門横断的なチームを作り、AIを活用した新しいプロセスやツールの導入を推進しましょう。
- 04 **リアルタイムの能力**：AIの価値を最大化するために、リアルタイムのデータ収集と活用に投資しましょう。カート放棄などの顧客行動に対し、AIによる推奨で即座に対応する能力は、コンバージョン率を劇的に向上させることができます。バッチ処理のみでデータ処理を行っている企業は、顧客の意思決定に影響を与える重要なリアルタイムの機会を逃してしまいます。
- 05 **分散型AI**：AIを一元化するのではなく、エコシステム全体に分散することを想定して準備を整えましょう。AIは、あらゆる顧客接点やビジネスアプリケーションに組み込まれつつあります。データ基盤が、集中型環境（データウェアハウス）とエッジ環境（ウェブサイト、アプリ、さらには顧客のデバイス上）の両方で実行されるモデルをサポートできるようにします。これにより、より高速でパーソナライズされた体験を実現できます。

覚えておいてください：AIの成熟度は到達点ではなく、継続的なプロセスです。前進する一步一步が、次の進歩に向けた基盤を築いていきます。

次のステップ

AIの成熟度を向上させる準備はできていますか？ AIの実装を成功に導くための堅牢なデータ基盤の構築において、Tealiumがお客様をどのように支援できるかについては、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは、<https://tealium.com/ja/udh-demo/> から

